

<2016 年度事業報告書>

NPO 法人クッキープロジェクト

事業の成果と課題

○情熱を常設に！

2016 年度は、NPO 法人化・店舗開設と、新たな一步を踏み出した特別な年になりました。

法人化にともなう設立趣意書の作成、寄付のお願いなど、行ったすべての作業で、「なんのためにクッキープロジェクトをやっているのか」の問いなおしの連続でした。

8 月に開催した設立記念パーティには、100 人もの方がご出席くださいました。「花」のモチーフをあしらったパーティの招待状を覚えていらっしゃるでしょうか。「ひとてま」の手仕事のあたたかみは、これまで私たちが作業所に教わってきた価値です。お菓子工房 COCO のメンバーと一緒に、事務所の大家さん手編みの「花」を招待状に飾る作業をした時間はとても豊かなひとときでした。

2017 年 1 月には、常設店「おかし屋マーブル」を埼玉県立小児医療センター内に開店することができました。開設にあたっては、会費や寄付を募り、費用を切り詰めやりくりしました。支えてくださる会員が増えたことは大きな成果で、なんとか初年度を黒字で乗り切ることができました。

加えて、パレスホテル大宮協賛の「シェフ弁当」の販売が大きな収入になりました。半年で 1200 食を販売、50 万円相当のチャリティーをいただいたこととなります。ご支援に深く感謝いたします。

助成金には応募した 4 件のうち 2 件が採択されました。埼玉県社会福祉協議会ひまわり基金を活用して「おにぎり交流イベント」を実施。地域で活動する NPO として、CoCo と一緒にほっとできる居場所づくりの一步をふみ出しました。2017 年度は、損保ジャパンの NPO 基盤強化助成で、企業向けのバリアフリー研修プログラム開発に取り組みます。

○マーブルから見えてきたこと

小児医療センター内の「おかし屋マーブル」では、高度医療を必要とする子どもたちに出会うこととなります。この世に生まれてきて、障がいのあるなしに関わらず、どの子もかけがえのない子どもなのだという、あたりまえの風景が病院にはありました。私たち自身「障がい者」という枠で、社会を見ていなかったか、改めて気づかされました。

マーブルは 5 坪の小さなスペース。1 日の来客は 70～80 人、外来患者さんが大半です。「診察がんばったからご褒美ね」「家で待っているお兄ちゃんにも買っていこうね」といった声が聞こえます。マーブルがあることで「病院に行く楽しみができました」と言っていただくことも度々です。

作業所とは、イベント単発から、通年のおつきあいになり、商品について意見交換する機会も増えました。「もう少しきれいに並べて袋詰めできますか？」など、お客様の要望を届け、作業所も日々応えてくださるなど商品のブラッシュアップの場になっています。作業所の商品が患者さんを癒やし、また作業所も励まされる、思わぬ相乗効果がたくさん生まれています。



○運営体制

全体の運営については、浜本・谷居・若尾が事務局、宮崎が会計を担当しました。年間事業規模100万円から1000万円に急成長したため、業務の分掌が追いつかず、事務局内での情報共有がやっとなりで、理事や会員への発信がおろそかになったことは反省点です。

マーブルの店舗責任者として浜本が週4日勤務し、受発注業務、ボランティアコーディネート業務を担当、谷居と若尾が週1店番に入っています。現在、大学生、シニア、障がい者、働きづらさを抱える若者など、約20人のボランティアが日替わりで店番をしてくれています。多様な人がまぜこぜで、できることを持ち寄って働いていることは、マーブルの財産です。経済成長優先で孤立化が進む現代だからこそ、このような働き方の創出には、これからも積極的に取り組んでいきたいと考えています。小児医療センターの患者さんの中にも、障がいがあり、将来どのように働くのか不安に思っている人は少なくありません。私たちの試みが、ひとりでも多くの人の希望をつないでいけるよう、これからも店舗を運営していきます。

○ もっとまぜこぜのために

これまで、PR塾やバザールを通じて福祉のクッキーのイメージアップや販路開拓には一定の成果をあげてきました。一方、福祉サービスが充実すればするほど、障がい者と健常者の分断はますます加速しているようにも感じます。これからも、障がい者と健常者の出会いの場、知り合う場をつくり、その出会いをきっかけに、分断されている社会を変えていこうと行動する人を増やすところまで高めていきたいと考えています。

さあ、福祉の商品“で”まちづくりをご一緒に！ 今後ともご支援よろしく願いいたします。

NPO 法人クッキープロジェクト 代表理事 若尾明子

運営の報告 2016年7月～2017年6月

会員数：正会員 20人

サポーター個人（賛助会員）60人

サポーター法人（賛助会員）13団体

理事会開催：第1回 2016年8月8日

第2回 2016年10月18日

第3回 2016年11月25日

第4回 2017年2月25日

第5回 2017年5月29日

第6回 2017年6月15日

(1) 特定非営利活動に係る事業

1. 福祉でまちづくり事業

1-1 クッキーバザール 3月22日・23日@浦和コルソ

● 目的：

「かわいそうだから買ってあげる」ではなく、「プレゼントしたくなるクッキー」を目指して、福祉の商品の向上を図るとともに、その成果をお披露目する販売会を開催する。



● 内容：

- ・ 実行委員会は11月より4回開催。9回目となる今年は、埼玉県内16団体が参加し、クッキー、パウンドケーキ、せんべい、珈琲などのほか、障がい者のアート雑貨も販売した。
- ・ 「参加で元気に！」をテーマに、障がいのある人ない人ませこぜの売り場を目指して、障がいのあるメンバーとギフトバッグづくりに楽しめる「デコバックコーナー」や、買った人全員が参加できる「じゃんけんコーナー」を設置した。



日付	テーマ	内容
11月30日	第1回キックオフ顔合わせ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 初参加作業所2カ所、ボランティア4人他12人の参加 ・ 「今会いたい人」というテーマで自己紹介、そこから広がって企画の芯「元気になる売場」というテーマがきまる。
1月12日	第2回企画会議	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参加者20人。 ・ 吉田知津子さんに会議進行をお手伝いいただき、「どんな人からどんな人へ」を確認したうえで話し合い、新しい発想が生まれた。
2月2日	第3回コピー作成	<ul style="list-style-type: none"> ・ PRすべき3点を決定、キャッチコピーを整理した。
2月23日	第4回試食会	<ul style="list-style-type: none"> ・ お客さんに商品の魅力を伝えるための学習。作業所職員も、お互いの商品を知ること、作り方や工夫を共有しあう時間にもなった。
3月22・23日	バザール@浦和コルソ	<ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティアスタッフ：参加のべ90人 ・ 参加作業所：焼き菓子16団体（うち初参加3）、雑貨10団体 ・ 売上げ 114万円、客数 1,155人 ・ 異動・卒業・入学のシーズンなので桜色の売場に ・ 過去最高、2日目には長机を増設して売上向上を狙った。
4月6日	報告会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参加者50人。売上げ報告ならびに各担当からレジ・バッグヤード・デコバックワークショップ・ディスプレイの報告。 ・ 協賛企業さん、ボランティアさん、お客さんにも声を聞いた。

●出品作業所

- | | |
|------------------------|------------------|
| ① 山ばと作業所（本庄市） | ⑨ しびらき（さいたま市桜区） |
| ② あゆみ作業所（深谷市） | ⑩ シンフォニー（新座市） |
| ③ よるべ（滑川町） | ⑪ かわせみ（日高市） |
| ④ いちご福祉会まいむ（さいたま市緑区） | ⑫ 晴れ晴れ（川口市） |
| ⑤ ちひろ珈琲（さいたま市見沼区） | ⑬ ほっとすてーしょん（川口市） |
| ⑥ お菓子工房 COCO（さいたま市大宮区） | ⑭ 吉川フレンドパーク（吉川市） |
| ⑦ 大宮太陽の家（さいたま市大宮区） | ⑮ あかりワークス（宮代町） |
| ⑧ ほっとラウンジ（さいたま市浦和区） | ⑯ こすもす作業所（坂戸市） |

● 物品寄付・協賛

内容
チラシコピー A4 カラー両面 5000 部、A4 ポスター200 部
販売手数料の減免
接客販売・ディスプレイ支援
試飲タイムの珈琲
キラキラシールやさおり織りのはぎれ等
リボンやボタン、かわいい端布などの手芸雑貨
白いタオル 390 本

広告協賛企業
株式会社タムロン 毎日興業株式会社 株式会社ラダースポーツ 有限会社あかつき建設 株式会社臼田ファインモーターズスクール 株式会社 OKUTA コワーキングスペース 7F シェアオフィス 6F 埼玉県生活協同組合連合会 株式会社世田谷社 合同会社橋 デンダ歯科クリニック パレスホテル大宮 ペットハート便 株式会社森島工務店 武蔵野銀行

●課題と展望（担当：谷居）

- ・ 実行委員が主体となって企画運営を担うことができた。特に第2回の企画会議では、ロールプレイを交えるなどして、みんなで一緒に会議をしている実感を持つことができた。今後もプロセスを大事に積み重ねる「私たちだからできる」づくり方を大切にしたい。
- ・ 実行委員長を立てることができず、事務局主導で動きにくかったので次年度以降工夫したい。
- ・ 今年は新しい作業所の参加のほか、新たに雑貨類の紹介ができた。
- ・ 次年度は、バザール 10 回目となる。改めて作業所の現状を把握し、これまでの活動を評価するとともに、次の 10 年の目標を定めていきたい。

1-2 販売事業（置きクッキー、イベント出店他）

● 目的：クッキー販売を通じての企業の社会貢献プログラムを開発していく

● 内容：

(1) 置きクッキー（通年）

オフィスの一隅やレジ横にクッキー販売スペースを提供いただき、販路開拓につなげる。

設置場所：コワーキングスペース 7F/埼玉大学生協売店/大宮武道館/ラダースポーツ北与野店

(2) イベント出参加ノノベルティ企画

地元企業等のイベントでのクッキー販売やノベルティ活用で、販路開拓につなげる。

日時	出店イベント	備考
7月22日	城西大学女子学生交流イベント	
9月9・10日	リレーフォーライフさいたま	
10月7日	毎日文化祭@産業文化センター/毎日興業	
11月3日	鹿手袋縁づくり市@ヘルシーカフェのら	
11月14日	県民の日イベント@With You さいたま	
11月19日	浦和〇〇部@北浦和あじさい	
11月20日	埼玉県小児医療センター お別れ会	
12月9日	武蔵野銀行地産地消フェア	
12月26日	パレスホテル大宮・引越弁当(弁当500個)	協賛
3月8日	連合埼玉女性委員会(シュガーラスク1000個)	ノベルティ
3月24日	子ども夢未来フェス・手話応援ノベルティ(せんべい200個)	ノベルティ
4月26日	連合埼玉女性委員会講座にて販売	
4月29日	連合埼玉メーデー@大宮鐘塚公園 クッキー販売+デコバッグWS	
4月29日	まるごとバイクフェス/ファインモータースクール	
4月29日	鹿手袋縁づくり市@ヘルシーカフェのら	
5月～	パレスホテル大宮・夏のチャリティーギフト150セット	協賛
5月9日	毎日興業・社員表彰用(メダルクッキー&プチギフト)	ノベルティ
6月4日	手話応援実行委員会 手話啓発ブース景品(クッキー450個)	ノベルティ
6月18日	埼玉福祉専門学校文化祭	
毎月第四金曜	パレスホテル大宮・チャリティーシェフ弁当	協賛

【課題と展望】

- ・在庫を持たなかった以前と比べて、常設店があることでギフト注文にスムーズに応えることができ、販路拡大につながっている。
- ・新規イベントやノベルティ利用も増えており、これからはもっと企業向けのギフトなどを提案し、クッキー販売で企業と作業所との接点をつくっていききたい。
- ・パレスホテル大宮さんの協力によるチャリティー弁当「シェフ弁」は好評で、マーブルの運営を支える大きな収入源となっている。
- ・置きクッキーは、買いやすさ重視で100円の商品をラインナップしているが、障がい者の工賃アップにつながりにくい現状がある。また、納品の足の確保も課題。システムの見直しをはかっていきたい。
- ・パレスホテル大宮×工房集×クッキープロジェクトのコラボで、夏ギフトを開発することができた。買い支えて下さった会員やボランティアのみなさまに感謝したい。



1-3 専門家派遣 ※今年度はコンサルの依頼なし

【課題と展望】

- ・前年度のこすもす作業所のコンサル実績をPRできず、専門家派遣の受注につながらなかった。
- ・今後はマーブルでの日常的な販売でのつながりの中で、商品開発支援事業をPRしていきたい。

2. 障害児者の社会参加プログラム開発

2-1 NPO 法人設立記念パーティ 8月5日@パレスホテル大宮 中華レストラン

●目的：ご支援いただいている方々と法人化を祝うとともに、新法人の役員や事業を紹介する。

●内容：

日付		内容
7月～	記念品トランプ作成	しびらきの野沢真由美さんのケーキのイラストを活用した記念品のトランプ作成。
7月2日	招待状発送	事務所の大家さんにつくっていただいたレースの花飾りをあしらった招待状を作成。COCOメンバーらと発送作業を行った。
8月2日	イベント準備	10人のボランティアとともに、トランプ組み作業@サボセン南ラウンジ
8月5日	パーティ開催	参加者100人。パレスホテル大宮2階中華瑞隣にて開催。 後半、参加者全員で記念品のトランプを活用して、ババ抜き大会を開催。

【課題と展望】（担当：若尾）

- ・ お花やお祝い、イベント準備など、たくさんの方にご支援いただけて開催することができた。
- ・ 会場には、社長さん、会社員さん、福祉施設の人、主婦、社協職員、フリーター、障がいも身体・知的・精神と、いろんな人がシャッフルした空間となった。



2-2 デコッパ卓球選手権 10月10日@大宮武道館



●目的：デコレーションしたスリッパで卓球の腕を競い合い、障がいのある人もない人も、大人も子どもも、会社員もフリーターもまぜこぜになること。

【大会スローガン】赤もがんばれ！白もがんばれ！

脱・内輪受け 一人ぼっちをつくらない

●内容

- ・ 実行委員会形式で運営。当日の参加者100人。
- ・ 城西大学の学生が事務局にインターンとして参加。
- ・ 5回目を記念して、ゆるきゃら5体（コバトン、ヌウ、まがたん、ジョー君、サイちゃん）を招聘し大会を盛り上げた
- ・ 総合優勝は毎日興業チーム。



日付		内容
7月14日	第1回実行委員会	顔合わせ。ルールの確認、参加者募集方法について検討。15人参加
8月23日	第2回実行委員会	部門ごとに企画検討。 競技部門、アート部門、受付・打ち上げ幹事、開会式・表彰式、アフターヌーンショー、ゆるきやら
9月9～10日	デコッパワークショップ	リレーフォーライフ埼玉に出店し、デコッパのPRとしてブースでワークショップを行った。
9月27日	第3回実行委員会	部門ごとに企画検討し、当日の進行確認。
10月5日	準備	参加賞など、備品準備。
10月10日	大会当日	参加者100人、卓球台16台を利用。参加28チーム。 アフターヌーンショー：エビカニクス 講師：三枝京子さん

● 物品寄付・協賛

寄付	内容
マジェルカ	クッションポーチ「タクシーを止めるシロクマ」
埼玉県労働者福祉協議会	ミスタードーナツ券、ミネラルウォーター
毎日興業	大宮アルディージャ手話応援Tシャツ&文具セット
ラダースポーツ	ラダースポーツ 加圧トレーニング無料体験券

● メディア：NHK ニュース/jcom デイリーニュース/テレビ埼玉ニュース 930/埼玉新聞

【課題と展望】 (担当：谷居)

- ・ 前年度参加者に実行委員として各部門を担っていただき、円滑な運営ができた。
- ・ ユニークなデコッパ作品や、参加者自身のコスプレも年々レベルが上がっており、スポーツとアートの祭典となってきている。メディアにも多く取り上げていただくことができた。
- ・ 大会スローガンを「一人ぼっちを作らない」としたが、実際には障がい当事者より「まざれなくてさみしい思いをした」との声を複数いただいております、次年度の課題としたい。

2-3 のら部/ゆっくりな働き方1 ～おにぎりサロン事業

● 目的：

事務所のご近所とのつながりをつくるため、障がいのある人も、高齢者も、近所の子どもも、「食」を一緒に楽しめるおにぎりサロンを開催。将来的には、障害者やひきこもり若者が働く場としての「おにぎり工房」開設を目指す。(埼玉県社会福祉協議会 ひまわり基金助成事業)

● 内容：

おにぎりサロン「吉敷3丁目釜の日」3回開催@お菓子工房COCO。
あわせて3升釜を購入。



10月25日	いっしょにおにぎりにぎりましょ ～ふっくらおにぎりの基本	ゲスト：フードコーディネーター 貫井みちさん 参加者：18人
11月23日	いっしょにおにぎりにぎりましょ ～錦松梅づくり	ゲスト：かんたん料理研究家 立花和代さん 参加者：15人
12月23日	いっしょにカレーつくりましょ	ゲスト：新宿のカレーの名店「草枕」 スタッフ 松尾由香さん 参加者：14人

【課題と展望】（担当：若尾）

- ・ 近所の子育て中のパパと子ども、斜め向かいの一人暮らしの高齢者、ひきこもり若者の親子なども参加して、楽しく交流することができた。地区社協のコーディネーターにも参加いただき、つながりがつくれた。
- ・ 障害者やひきこもり若者が働く場としての「おにぎり工房」開設にむけては、仕事の内容としてはとてもよいが、保健所の認可の面で課題が残った。
- ・ ひきつづき、「吉敷3丁目釜の日」を開き、地元との交流の機会をつくっていきたい。

2-4 のら部/ゆっくりな働き方2 ～しごと準備講座

- **目的：**不登校・ひきこもり・発達障害・精神疾患など働きづらさを抱える若者が、仲間と出会い、仕事と出会うための「半歩」を応援する連続講座を目指す。

● **内容：**

2017年6月埼玉県 With You さいたまより「働きづらさ・生きづらさを抱えた女性のためのしごと準備講座」を受託。講座の中で、おかし屋マーブルの販売体験など、お仕事体験プログラムを実施する。

【課題と展望】（担当：若尾）

- ・ 第一期6月28日～現在受講生10人。第二期は9月末スタート予定。これまでののら部の活動やボランティア受入の経験を、この講座のプログラム開発に活かしていきたい。



しごと準備講座イメージキャラクター：半歩さん

もう家にいるのは「飽きた・・・」でも一人では不安で就職活動に踏み出せない半歩さん。しごと準備講座では、仲間と出会い、「しごと」と出会うための「半歩」を応援します。

3. 企業の社会貢献プログラム開発

3-1 バリアフリー研修

- 目的:障がい者が地域で暮らす中で感じる困難などを企業に伝えるバリアフリー研修プログラムを開発する。(損保ジャパン日本興亜福祉財団 NPO 基盤強化資金助成事業)
- 内容:研修開発委員会立ち上げ、様々な障がい当事者の参画で、障がいのある人ない人の交流を重視するプログラムをつくる予定だが、現在未着手。

【課題と展望】

- ・ 当初は、研修テーマを「視覚障害」と想定したが、普段からつながりの作業所に通う精神障害や知的障害をテーマにしてはどうかとの声から、現在プラン変更中。整い次第スタートさせる。
- ・ 障害者雇用促進法改正に伴い、2018年4月から企業の法定雇用率の対象に、身体と知的に加え精神障がい者も含めることとなり、雇用率も2.3%にアップする。研修を切り口に企業との連携を深め、研修事業収入を得るとともに、クッキーの販売拡大を図っていきたい。

コラム★あるときはごめんなさい

広報部長 たにいさちよ

2016年秋、デコッパ卓球選手権を前に、手術のため入院をしました。人生で初めての手術、どのくらいで回復できるのかもわからず、今年の「デコッパ新聞」をあきらめ、城西大学からインターンに来た学生に任せることになりました。もともと生業がレイアウトデザインで、制作物をつくるのが大好きでしたから、自分ができないことはけっこう辛かったです。

「任せる」中で気づいたことは、デザイナーの私がやってしまうことで、誰かの「やってみたい」を疎外してしまっていないか、ということでした。私がつくるとしても凝ったデザインになってしまうけれど、他の人に「凝ったもの」という完成度を求めるのは違うのだと・・・で、今年度は「インターン学生の視点から見た」という新聞ができたのですが、やっぱり気になるモヤモヤ。

ところで、このモヤモヤは、「クッキー新聞」の制作にも言えることです。日々、どつぶり事業を担当すると、自分たちだけの中で完結してしまつて、中からは見えないうこと、気づけない視点がたくさんあります。だから情報発信してもわかりにくく、それで「あれ？どうなっているのかな」と心配をかけていることがあると思います。時には、「クッキーの商品開発はどうしちやったの？」との声もありました。

小児医療センターの企画提案プレゼンにむけては、仕上げ前日に入院中のベッドサイドに若尾さん、浜本さん、アドバイザーの吉田さんが来てくれて、事業の軸を話したりもしました。クッキー新聞では、そんなプロセスを伝えるには至らなかつたなど。では、どうする？

クッキー新聞を分厚くしていきたい！クッキープロジェクトに関係する人・コトにするべく切れ込んでいきたい！そのためには「クッキー新聞編集部」を組織していきたいと思えます。具体的には年々回の編集に参画して下さる広報部員を大募集したいと妄想中。誰かいるかな？！

4. 障害福祉サービス事業

4-1 おかし屋マーブル 2017年1月5日オープン@埼玉県立小児医療センター



- 目的：高度医療を必要とする子どもたちとその家族の方たちに、「障がいがあっても多様な人がいるからおもしろい」とのメッセージを届けるとともに、ご来店くださる方が、ほんの少しでも「ほっ」とできたり、笑顔になれるそんなお店になることを願って、埼玉県立小児医療センター内に常設店舗「おかし屋マーブル」（5坪、営業平日10時～16時）を1月5日にオープン。

● 内容

- (1) 商品は、埼玉県内の福祉作業所の障がいをもつ人たちの手づくり品
- (2) マーブルで働く人は、作業所で働く障がいをもつひとたちやニートなど働きづらさを抱えた若者+ボランティア
- (3) 運営にあたっては、企業関係者やボランティアなど地域の多様な人が参加できる置き菓子やチャリティー商品などの社会貢献プログラムの開発を通して、病院とまちをつなぐ窓＝ウエルフェアトレードタウンの拠点となることを目指す。
- (4) 店舗内には、壁面やラックを利用して地域で暮らすための情報コーナーを開設。

● マーブルで活動するひとたち

	人数・頻度など	内容
就労訓練生	6名 (継続・単発含む)	・クッキープロジェクトの活動に初めて参加した方2名。うち、単発1名、週1回1か月以上継続の方2名
こんにちは販売	2団体(月2回～3回)	・出展作業所によるクッキー販売。団体からスタッフ同行。
ボランティア	13名 (月2回～5回)	・大学生、自営業、リタイアシニア、主婦、患児母など。13名のうち7名はマーブルオープン後あらたにボランティアになった方。交通費補助
有償スタッフ	3名	1名以上が責任者としてマーブルで店番

● 出品団体数 ※6階職員ラウンジでの販売(2月～)

	1月オープン時	6月末現在
焼き菓子等	12	18
パン(マーブル+6階※)	0	2
弁当(マーブル+6階※)	0	2
雑貨	8	11

● 売上

日付	営業日数	お菓子	雑貨	パン弁当	県産品	合計	来客数	客単価
1月	22	614,830	75,858	118,040	46,514	855,242	1,584	540
2月	20	630,136	66,990	248,284	35,842	981,252	1,776	553
3月	22	804,568	84,060	355,050	62,680	1,306,358	2,013	649
4月	20	582,966	54,240	314,370	38,699	990,275	1,753	565
5月	20	434,548	84,760	163,934	61,868	745,110	1,380	540
6月	22	326,762	99,582	440,360	129,798	996,502	1,679	594

●メディアなど：

NHK ラジオ さいたま〜ず/NHK ひるまえほっと/jcom デイリーニュース/大宮アルディージャ情報誌 asseist/
 埼玉新聞/日経新聞/読売新聞/さいたま朝日/生活と健康を守る新聞/アコレ大宮/大宮経済新聞/はあとねつ
 と輪っふる通信/武蔵野銀行社内報/

● 物品寄付・協賛

内容
黒い手提げ金庫
ガチャガチャ
ごみ箱
冷蔵ショーケース
FAX 電話、事務いす
掃除機、脚立
棚製作
ペーパークラフト、うちわ
ネコのマグネット

【課題と展望】 (担当：浜本)

- ・ 病院内で楽しく買い物ができる場所、子どもが行くのを楽しみにしているなど、うれしい声をオープン以来頂いている。
- ・ 工夫をこらした店内で、埼玉県内作業所の商品を目にさせていただくことでマーブルは、ご家族の障がいやお子さんが利用している作業所の話など、おしゃべりのきっかけになることも多く、商品をとおしたコミュニケーションの場ともなっている。
- ・ 販売に関しては、初年度であり見込みを立てることが難しい状況であったが、バレンタインデー、ホワイトデー、春休み、年度末は結果としてご来店が多い一方、母の日を含めて、5月6月はそれ以前に比べ低調となった。作業所のパン・弁当販売も2月から定期に行われており（計4団体、マーブル・6階職員ラウンジ）、病院職員をはじめ、来院される方への一層の周知が必要である
- ・ 毎月1回の「シェフ弁当」販売を1月～、「チャリティーゼリーギフト」販売は5月～実施し、企業の方とともに新たな社会貢献商品の開発を行うことができた。
- ・ 今後は、仕入れと商品展開が運営継続に資する状況をつくれるかどうか大きくかかわっていく。各作業所の生産状況、ギフト時期などのこまやかや情報の把握とともに、来店のお楽しみが増すよう、新しい商品、季節をふまえた商品ラインナップにつとめ、売り場の魅力アップを進めたい。並行して、病院内の状況をふまえつつ、病院とまちをつなぐ窓として、また、地域の多様なひとが参加できるしかけ、活動づくりの企画を、多様なひとの参加を得てすすめていきたい。



4-2 おかし屋マーブル開店準備 (10月~12月)

●内容：

- ・ 東京の国立成育医療センター、聖路加病院のボランティアショップを見学したり、福祉アート雑貨の店（マジェルカ）で販売体験をさせていただくなど、情報を収集し売店の企画に活かした。
- ・ 仕入れ先の開拓として、クッキーバザールでのつながりの他、埼玉県内障がい者アート活動のネットワークをもつ工房集さんに雑貨部門をご協力いただいた。
- ・ 入口を工房集のぼやきパフォーマー金子隆夫さんの作品で彩ることができ、また、レジ台は県産材の檜を使用した川本園のバリアフリー仕様となっており、ナチュラル楽しい店内となった。(店舗デザイン：株式会社バースアンドリバース)



【課題と展望】

- ・ 会員さんや寄付者など、多くの方に励まされご支援・アドバイスをいただきつつ、常設店を無事にオープンできたことに心より感謝を申し上げたい。その一方で、開店準備に追われ事務局に多大な負担をかけてしまったこと、支援者に情報発信できず事務局となってしまったことは反省点。
- ・ 役員8名からの借入金と支援者からの寄付金を、初期費用ならびに運転資金とした。店舗契約期間は3年。ひきつづき寄付を集めるとともに、事業収益を上げ、借入金返済を目指す。

(2) その他の事業

なし

以上

2016年度 活動計算書

(2016年7月1日から2017年6月30日まで)

特定非営利活動法人クッキープロジェクト

(単位：円)

科目	金額	
I 経常利益		
1 受取会費		
正会員	240,000	
賛助会員(個人)	192,000	
賛助会員(法人)	180,000	612,000
2 受取寄付金		
受取寄付金	603,592	603,592
3 受取助成金等		
受取助成金	100,000	100,000
4 事業収益		
A福祉でまちづくり事業	2,152,790	
B障害児者の社会参加プログラム開発	714,500	
C企業の社会貢献プログラム開発	0	
D障害福祉サービス事業	6,898,537	9,765,827
5 その他収益		
受取利息	6	
雑収益	5,400	5,406
経常収益計		11,086,825
II 経常費用		
1 事業費		
(1) 人件費		
給与手当	819,000	
通勤費	83,400	
法定福利費	66,577	
人件費計	968,977	
(2) その他経費		
仕入高	5,869,315	
業務委託費	1,042,900	
謝金	89,096	
広告宣伝費	4,250	
会議費	458,123	
旅費交通費	112,870	
車両費	6,908	
通信運搬費	34,270	
消耗品・雑費	417,375	
光熱水費	11,108	
保険料	16,440	
手数料	43,390	
備品購入費	0	
雑費	20,190	
その他経費計	8,126,235	9,095,212
2 管理費		

(1)人件費			
役員報酬	360,000		
給料手当	432,000		
通勤費	248,932		
法定福利費	22,682		
人件費計	1,063,614		
(2)その他経費			
印刷費	0		
会議費	3,996		
旅費交通費	1,000		
通信運搬費	32,003		
消耗品・雑費	60,155		
地代家賃	120,000		
手数料	2,214		
租税公課費	2,450		
その他経費計	221,818		
管理費計		1,285,432	
経常費用計			10,380,644
税引前当期正味財産増減額			706,181
法人税住民税及び事業税			70,000
当期正味財産増減額			636,181
前期繰越正味財産額			671,754
次期繰越正味財産額			1,307,935

2016年度 貸借対照表

(2017年6月30日現在)

特定非営利活動法人クッキープロジェクト

(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	2,996,771		
売掛金	44,760		
棚卸資産	160,399		
流動資産合計		3,201,930	
資産合計			3,201,930
II 負債の部			
1 流動負債			
前受金	500,000		
未払金	266,500		
未払法人税等	70,000		
預り金	7,495		
流動負債合計		843,995	
2 固定負債			
役員借入金	1,050,000		
固定負債合計		1,050,000	
負債合計			1,893,995
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		671,754	
当期正味財産増減額		636,181	
正味財産合計			1,307,935
負債および正味財産合計			3,201,930

財務諸表の注記

特定非営利活動法人クッキープロジェクト

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準評議会)によっています。

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準及び評価方法は、最終仕入原価法。

(2) 消費税の会計処理

消費税などの会計処理は、税込方式によっています。

2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は別表の通りです。

3. 用途等が制約された寄付等の内訳

用途等が制約された寄付等の内訳は以下の通りです。

当法人の正味財産は1,307,935円ですが、そのうち用途が制約された財産はありません。

(単位:円)

内容	期首残高	当期増減額	当期減少額	期末残高	備考
損保ジャパン助成金		500,000	0	500,000	企業の社会貢献プログラム開発事業は、翌期に実施のため、前受金として負債に計上しています。

4. 借入金の増減内訳

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
役員借入金	0	1,050,000	0	1,050,000

2016年度 財産目録

(2017年6月30日現在)

特定非営利活動法人クッキープロジェクト

(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手元現金	232,844		
埼玉りそな銀行 さいたま新都心支店	1,617,995		
埼玉りそな銀行 浦和中央支店	370,570		
武蔵野銀行 県庁前支店	436,822		
ゆうちょ銀行郵便振替口座	338,540		
売掛金	44,760		
棚卸資産			
販売用クッキー	160,399		
流動資産合計		3,201,930	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			3,201,930
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受金	500,000		
未払金	266,500		
未払法人税等	70,000		
預り金	7,495		
流動負債合計		843,995	
2. 固定負債			
借入金	1,050,000		
固定負債合計		1,050,000	
負債合計			1,893,995
正味資産合計			1,307,935